

2022年12月7日

各位

会社名 株式会社 じげん
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 平尾 丈
(コード番号：3679 東証プライム)
問合せ先 取締役 執行役員 波多野 佐知子
(TEL. 03-6432-0350)

株式会社ティ・エス・ディの株式取得（完全子会社化） に関するお知らせ

当社は、2022年12月6日夜間開催の取締役会において、株式会社ティ・エス・ディ（本社所在地：東京都渋谷区、代表取締役：岡田 直樹）が運営するBPO事業を除く一切の事業を新設分割により新設会社に承継させ、株式会社エフネスが運営する承継対象事業の一部を株式会社ティ・エス・ディに会社分割させたのち、株式会社ティ・エス・ディの株式を取得することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 取得理由

① 取得概要と事業戦略

今回の株式を取得する株式会社ティ・エス・ディにおいては、「2. 株式会社ティ・エス・ディを完全子会社化するまでの移行手順」に記載の各手続きを経て、旅行領域にてギャランツァー事業（以下「GT事業」といいます）、リキシャ事業（以下「RK事業」といいます）、TASA事業、BPO事業の4事業を運営する予定です。（以下、上記4事業を総称して「対象4事業」といいます）

GT事業では、旅行会社に向けて航空券の仕入れ・発券代行・清算業務を行っております。RK事業では、旅行会社に向けたホテルの予約サイトである「Rikisha Easy REZ！」を運営しております。TASA事業では旅行会社向けのクレジットカード包括加盟、各種決済代行業を運営しております。BPO事業では、GT事業と連携し、クライアントである旅行会社の顧客に対し、緊急の対応が発生した際に当該旅行会社に代わり国際航空券の発券を行うなどのサポートを行っております。

一方、当社連結子会社である株式会社アップルワールド（以下「APW」といいます）では主に海外ホテルを取り扱う予約システム「アップルワールド」を運営しており、世界約150カ国約11万件のホテル情報を国内旅行代理店向けに提供しております。

今回の対象4事業の譲受によってAPWでは海外ホテルのホールセラーとしての更なるポジション強化を達成するだけでなく、ホテルと比較してサポートの幅が狭かった海外航空券のホールセラー事業を大きく伸長させることが可能となり、旅行会社への総合ソリューション提供を行うことができるようになります。

また今まではホールセラーの市場を主に扱っていたAPWでしたが、TASA事業、BPO事業の取得により業務支援の領域にまで価値提供の幅を広げることが可能となり、顧客基盤をさらに強固なものとすることを目指します。

② 市場環境

旅行領域においては、2021年3月期に、長期化する新型コロナウイルス感染症影響による海外渡航需要の低迷等により、当初想定した収益性が見込めなくなったことを鑑み、保守的な前提のもと、APWののれん等について、減損損失1,931百万円（のれんに係るもの1,750百万円、有形固定資産及び無形資産に係るもの181百万円）を計上いたしました。

2020年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした旅行市場の縮小により、我が国からの海外出国者数は大幅に落ち込んだものの、法務省出入国在留管理庁によると2022年9月時点では319千人を記録しており、前年同月から比較すると510%の増加と足元では回復傾向にあります。また新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受ける2019年までは、海外出国者数は2007年かからCAGR1.3%と緩やかな増加傾向をみせており、今後も市場自体は成長を続けると想定されます。

2. 株式会社ティ・エス・ディを完全子会社化するまでの移行手順

当社は、以下の手順により、株式会社ティ・エス・ディが運営するBPO事業を除く一切の事業を新設分割により新設会社に承継させ、株式会社エフネスが運営する承継対象事業の一部を株式会社ティ・エス・ディに会社分割させたのち、株式会社ティ・エス・ディを完全子会社化する予定です。

<Step 1>

2023年2月1日を効力発生日（予定）として、株式会社ティ・エス・ディが会社分割（新設分割）の方法によりBPO事業を除く一切の事業を新設会社に承継いたします。

<Step 2>

2023年2月1日を効力発生日（予定）とし、Step1の新設分割の効力が生じていることを効力発生の前提条件として、株式会社エフネスが会社分割（吸収分割）の方法により承継対象事業の一部（GT事業、RK事業、及びTASA事業）を株式会社ティ・エス・ディに承継いたします。

<Step 3>

当社は、株式会社エフネスとの間で締結した株式譲渡契約に基づき、対象4事業を運営する株式会社ティ・エス・ディの株式を100%取得（完全子会社化）いたします。

3. 取得の方法

全額を、銀行借入れにより充当する予定です。なお、2022年9月末時点において、当社連結の親会社所有者帰属持分比率は63.9%、のれん/資本倍率は0.5倍と、財務目標（親会社所有者帰属持分比率40%以上、のれん/資本倍率1.0倍程度）範囲内の健全水準であり、本件による財務状況への影響はございません。

4. 対象会社の概要 (2022年12月7日現在)

(1) 名 称	株式会社ティ・エス・デイ			
(2) 所 在 地	東京都渋谷区神宮前 2-19-16 U Base 神宮前 3F・4F			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 岡田 直樹			
(4) 事 業 内 容	航空券の仕入、発券代行、精算事業 BtoB 専用ホテル予約サイト事業 決済代行業業 旅行会社向け BPO 事業			
(5) 資 本 金	50 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	2001 年 7 月			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社エフネス 100.0%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
純 資 産		60 百万円	6 百万円	△25 百万円
総 資 産		477 百万円	233 百万円	218 百万円
1 株 当 たり 純 資 産		24,025.41 円	1,686.06 円	△6,819.95 円
売 上 高		4,294 百万円	1,397 百万円	707 百万円
営 業 利 益		58 百万円	△114 百万円	△38 百万円
経 常 利 益		48 百万円	△87 百万円	△40 百万円
当 期 純 利 益		1 百万円	△61 百万円	△31 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益		547.61 円	△19,901.46 円	△8,506.01 円
1 株 当 たり 配 当 金		-	-	-

なお、対象4事業の経営成績における進行期の着地見込(2022年12月期)は、売上高373百万円、営業利益172百万円であります。

また、対象4事業における承継純資産額は、約850百万円と見込んでおり、譲渡価額から当該承継純資産額を除いた金額を、当社グループの連結財務諸表上における、のれん及び無形資産に計上する予定です。

5. 取得先の概要

(1) 名 称	株式会社エフネス	
(2) 所 在 地	東京都渋谷区神宮前2-19-16 U Base 神宮前3F・4F	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 岡田 直樹	
(4) 事 業 内 容	旅行業界向けウェブメディア事業	
(5) 資 本 金	98 百万円	
(6) 設 立 年 月 日	1990 年 7 月	
(7) 純 資 産	592 百万円	
(8) 総 資 産	3,496 百万円	
(9) 大株主及び持株比率	株式会社アイユール・コーポレーション 38.5% 岡田直樹 22.3% 株式会社MIC.9 12.3% 岡田朋之 5.5% 入江昭彦 5.1%	
(10) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

6. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：－%)	
(2) 取 得 株 式 数	3,605 株 (議決権の数：3,605 個)	
(3) 取 得 価 額	株式取得価額	1,774 百万円
	アドバイザー費用等 (概算額)	9 百万円
	合計 (概算額)	1,783 百万円
(4) 異動後の所有株式数	3,605 株 (議決権の数：3,605 個) (議決権所有割合：100%)	

7. 日程

- | | |
|-------------|----------------------|
| (1) 取締役会決議 | 2022 年 12 月 6 日 |
| (2) 契約締結日 | 2022 年 12 月 7 日 (予定) |
| (3) 株式譲渡実行日 | 2023 年 2 月 1 日 (予定) |

8. 今後の見通し

本件株式の取得が当社の業績に与える影響は軽微です。今後、業績予想の修正など公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

(参考) 当社グループにおける当期連結業績予想 (2022年5月13日公表分) 及び前期連結実績

	売上収益	EBITDA	営業利益	税引前利益	親会社の 所有者に帰属する 当期利益
当期連結 業績予想 (2023年3月期)	百万円 18,255	百万円 4,850	百万円 3,900	百万円 3,900	百万円 2,650
前期連結実績 (2022年3月期)	15,272	4,265	3,314	3,309	2,262

以上